

ホルスタインの毛刈りをしています

ホルスタインは暑さに弱く、気温が上がる夏になると食欲が低下する、いわゆる夏バテを起こします。食欲が低下すると、生乳生産に使えるエネルギーが足りず乳量も減り、牛も日を追うごとにやせていってしまいます。

そこで、農大では暑さ対策の一つとして、毛刈りを実施しています。毛刈りすることで、体表面の熱を効率的に発散することができます。

そのほかにも、風通しを良くしたり、牛舎内で扇風機を稼働させるなどの、夏バテ対策を実施しています。

今年の夏も、ホルスタインには(もちろん人間も)元気に乗り切ってほしいと思います。



牛用のバリカンで毛刈り



牛は嫌がったりせず、意外と静かに刈られています